

[月 刊]

2010. MAR

平成22年3月10日

岩手よもっと  
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

Vol.

96

# 産業情報 いわて



CLOSEUP  
岩手力!

## 株式会社東北ウエノ

事業利用企業紹介

お知らせ

いわてものづくりアカデミー／下請かけこみ寺  
都市エリア産学官連携促進事業報告会

報告

合同商談会・盛岡会場／いわて組込み技術研究会  
インターネット通販セミナー／商品化プロデュース事業  
二戸・久慈地区アパレル関連企業情報交換会

GLOSEUP

# 岩手力!

事業利用企業紹介

株式会社 東北ウエノ

物流を陰で支える包装資材。  
時代とともに運ぶモノが変わり、  
それを包むための素材、  
技術も進化する

より安全に、より早く、そして、より安価に…。  
包装資材に求められる要素は多岐にわたり、しかも厳しい。これに corres 応するのは物流環境を的確に把握し、最も適した原材料を選ぶ「適材適包」の知識・技術とフレキシブルな企画力だ。



発泡ウレタン、エアクッションなど、瞬時に緩衝材をつくる

## 縁の下の力持ち

「現代社会においては、包装を抜きにして成立する製品はほとんどありません」(日本包装学会のホームページより)。

言われる通り、私たちの身の回りで製品が裸の状態で流通していることはほとんどない。ものによって過剰包装と言われたりもするが、包装のおかげで製品が壊れることなく、ピカピカの新製品として私たちの手元に届くし、包装によって壊れるロスも少なく搬送の手間も省けて、結果として私たちは経済的な恩恵も受けていることになるのだろう。

「しかし皆さん製品は見ても包装は見えてくれません。包装なんて所詮、捨てるものだと。でも我々は包装で産業界を支えていると思っています。『適材適包』が当社の品質環境方針のテーマです」

たとえば、いままで1ケース100個梱包していた製品を、包装資材の素材や形状を工夫して120個梱包できるようにすれば、5ケースで2割増の数を運ぶことができ、1個当たりの輸送費は2割減+資材分のコスト削減になる。と言って、ミチミチ小さく詰め込んで納めるのが大変だし、取り出すのに手間がかかり、かえって時間ロス、コスト高になりかねない。

製品の安全を確保するのと併せて、出荷状況はどうなのか、荷解き作業はどんな場所でどのように行われるのか、輸送手段が何で、経路(道路事情)はどうで時間はどう…。さまざまな要素を勘案し、素材を何にするか、どういう形につくるか。設計し、試作し、製品化する。しかも、できるだけ安価に、さらには送る製品の納期が迫っている場合もあり、対応も早く、現在の物流を陰で支える包装資材会社に求められることは多様にして煩雑だ。

最小限の原材料で最大効果の包装資材を考える





店舗（街の包装屋さん）では一般の人向けにも包装資材をつくる



包む相手を3次元カメラで撮影、その画像データで原材料を加工する

## 「包装専士」という資格

「仏像をつくったので、壊れないように安全に送ってほしいというお客様がいました」

これは一般の人の話だが、機械メーカーでも同じようなケースがあるという。製品、部品の移送の大切さはわかっている、包装の専門職を置くところまで手が回らないのが実情。その結果、必要以上に包装資材を使ったり、資材の選択が適当でなかったため移送中にトラブルが起きたり、ということがある。

㈱日本包装技術協会が認定する「包装管理士」、「包装専士」という資格がある。「包装管理士」を取得後、一定の条件を満たすと包装のエキスパート「包装専士」の受験が可能になる。現在の日本での有資格者は包装管理士が10,227名、包装専士が約800名いるという。「地味な仕事だけになかなか皆さんにわかってもらえない歯がゆさがあります。いわて産業振興センターさんのご紹介でいろいろな展示会などを通じてお知らせしてはいるのです。が…」

## 進化する包装

同社のかつての親会社（平成8年分離独立）株式会社ウエノシステックは、前身が株式会社上野政次商店。昭和31年、東



精密部品を包む。安全に、簡便に、そしてより多く…

京上野に創業した。日本が戦後復興から高度経済成長に向かう時代、運ばれるのは生活物資が中心で、扱う商品は筵や縄など。緩衝材と言えば木毛やヤシ殻素材のもの。やがて産業の発展に伴い工業製品が動くようになり、包装資材も高性能化。緩衝材に発泡スチロールが現れ、昭和40年には壊れないポリエチレンの発泡材が導入される。運ぶモノは時計、事務機から精密機器、生産工場が地方に分散するようになると生産工場から組立工場へ「部品」が送られた。一方、運送事業の民営化と高速道路網の発達とが相まって民間部門の物流も急拡大。モノをより早く、安全に送るために包装資材もさまざまに研究、開発が進められてきた。その歩みは今もとどまることがない。

「私から見ると、まだまだオーバーパッケージです。包装はもっと簡便になるしコストダウンもできる。省資源という面でもっと効率を追求しなければなりません。包装のカイゼンが必要です。現物を3Dでスキャン、デジタルデータ化し、大幅な時間短縮、正確な緩衝設計が可能な技術が当社にはあります。メーカーさんにはモノづくりに集中していただき、包装については我々にお任せ願いたい」

自ら「包装専士」として包装アカデミー講座で教鞭もとる鈴木社長、「究極の包装」とは、の問いに答えて。「製品を限りなく裸に近い形で運ぶこと。それをどうやって実現するか、これからのテーマです」

## 企業概要

- 創業 1996年4月
- 代表取締役 鈴木 雅彦
- 資本金 1,000万円
- 事業内容 輸送包装改善・緩衝包装設計及び試験の委託・包装資材販売・包装機械類等販売ほか
- 従業員数 9名
- 海外拠点 タイ・中国
- 所在地 一関市地主町3-35 2階  
電話 0191-21-4531

URL  
<http://www.touhokuueno.co.jp>

今月の表紙／東北ウエノの営業組。左から福原勇太さん、田原祐樹さん、小岩良さん。鈴木社長の感化か、全員ダークでピンッと決めている。いずれも地元出身で、高校時代、田原さんはバレーボール、福原さんはサッカー、そして小岩さんは応援団とゲンキ印揃い。「運動系を選んだわけではなく、たまたまそうなった」（鈴木社長）

### 社長プロフィール 鈴木 雅彦

28年生まれ。東京都出身。大手化学メーカーで包装資材の代理店開拓などに携わった後、転身して包装業の第一線に立つ。かつての親会社ウエノシステックの東北地域強化のための一関進出だったが、そこはたまたまメーカー勤務時代に出会った奥さんの郷里。東北ウエノとして分離独立、自身も一関在住18年を経て地場企業として根を下ろす。「実は中学生のとき修学旅行で敵美溪に来たことがあって、運命の糸を感じています…。高専時代はラガーマン（センター）としてならした。



# いわてものづくりアカデミーのご案内



## 5S実践基礎講座

《現場改善活動に初めて本格的に取り組む企業並びに活動のレベルアップを図りたい企業を対象に、5Sの概論、改善の基本を学ぶとともに、自社の5S改善実施プランを作成して実践することにより、「わかるからできる」への改善活動のレベルアップを支援します。》

- 内容 現場改善の必要性、5S改善、改善実施プランの作成及び実践、企業訪問指導 他
- 講師 (財)日本生産性本部 高田 晴弘、武川 俊幸
- 日程 平成22年5月中下旬 集合研修(1日間)  
6月下旬 企業訪問個別指導  
7月下旬集合研修(1日間)  
8月下旬～9月上旬 企業訪問フォローアップ指導  
10月中旬 成果報告会(1日間)
- 会場 岩手県先端科学技術研究センター(集合研修、成果報告会)、参加企業工場
- 受講料 50,000円

## 品質管理中級セミナー

《TQM(トータル・クオリティ・マネジメント)の思想に基づいた「新QC7つ道具」その他の品質管理の最新技法を講習し、品質保証についての超優良企業への成長を支援します。》

- 内容 最新の品質管理の考え方、品質管理の全体像、パレート図等作成、QC7つ道具、新QC7つ道具 他
- 講師 玉川大学 教授 大藤 正
- 日程 平成22年8月18～20日(3日間)
- 会場 北上市・北上オフィスプラザ
- 受講料 30,000円

(財)いわて産業振興センターでは、県内ものづくり産業の国際競争力の強化と一層の集積促進を目指し、品質、コスト、工程の各般に渡るカイゼン能力の高い意欲的な人材育成を支援するため、「いわてものづくりアカデミー」を開催いたします。ものづくり現場の活性化とカイゼン意欲の高い企業風土の実現を目指し、精選したメニューとカリキュラムを準備いたしておりますので、ものづくり企業の方々の積極的な受講をお待ちしております。

## リーダーシップ研修

《的確なリーダーシップを発揮できるよう「自己変革」の機会を提供し、活力と生産性の高い工場づくりをお手伝いします。》

- 内容 企業と経営組織、タスクマネジメント、リーダーの行動基準、リーダーシップ、コミュニケーション、コーチング手法 他
- 講師 (株)エム・イー・エル 米沢 満穂
- 日程 平成22年10月6・7日(1泊2日)
- 会場 八幡平市・ホテル安比グランド
- 受講料 20,000円
- 宿泊代 10,000円



## 工程カイゼン中級セミナー

《生産現場において、他社との競争力を高めるためには、現場改善を積極的に推進することが重要なポイントとなります。御社の新たな改善を立案するための手法について、IE技法を中心に学び自社の課題解決に役立てていただきます。》

- 内容 現場改善の基本と考え方、モデル作業(VTR)IE改善実習、自社の現場改善への対応 他
- 講師 (株)アドバンス経営 中田 耕治
- 日程 平成22年11月18・19日(1泊2日)
- 会場 八幡平市・安比グランドアネックス
- 受講料 30,000円
- 宿泊代 10,000円





## 原価低減導入セミナー

《中堅管理者等がパソコンの表計算ソフトを用いた原価情報を共有する仕組みづくりを学ぶことにより、原価低減の取組みを促進して、競争力の高い工場づくりを応援します。》

- 内容 財務分析、経営分析のポイントと考え方、データの活用と原価低減の着眼点、原価計算演習 他
- 講師 西野税理士事務所 西野 光則
- 日程 平成22年7月13～15日 (3日間)
- 会場 盛岡市  
岩手県先端科学技術研究センター
- 受講料 30,000円



## 品質管理基礎講座

《生産性向上・競争力強化の「原点」である品質管理の基礎を学ぶことにより、御社の品質管理レベルの向上を支援します。》

- 内容 品質管理の必要性、整理整頓の必要性、特性要因図作成 (グループ実習)、標準化の基本的な進め方 他
- 講師 日本工場経営者協会 内山 昭夫
- 日程 平成22年5月20・21日 (2日間)
- 会場 北上市・北上オフィスプラザ
- 受講料 20,000円

## 工程カイゼン基礎講座

《作業効率向上等に対応した工程改善のポイントについて学ぶことにより、御社のカイゼンへの取組みのきっかけづくりを行います。》

- 内容 自社の現状分析と問題点の捉え方、モデル作業 (VTR) IE改善実習、改善を継続する重要ポイント 他
- 講師 (株)アドバンス経営 中田 耕治
- 日程 平成22年6月9・10日 (2日間)
- 会場 北上市・北上オフィスプラザ
- 受講料 20,000円

## ISO9001 内部監査員養成講座

《ISO9001の内部監査員を養成します。》

- 内容 要求事項解説、監査計画書作成 不適合指摘、是正処置 他
- 講師 (株)高野テクノサービス 高野 清治
- 日程 平成22年9月15～17日 (2泊3日)
- 会場 八幡平市・八幡平ハイツ
- 受講料 30,000円
- 宿泊代 20,000円



センターの賛助会員の皆様には、各コースの受講料が20%引きとなっています。  
また、1社から2講座以上受講いただいた場合、2講座目以降は20%引きです (賛助会員の皆様が2講座以上受講いただいた場合は、重複して割引します)  
詳細はホームページで確認するか、電話でお問い合わせください。お待ちしております。

### お申し込み・お問合せ先

育成支援グループ 研修担当  
TEL.019-631-3824 FAX.019-631-3830  
E-mail : mono-aca@joho-iwate.or.jp  
URL : <http://www.joho-iwate.or.jp/>

熱心な商談が行われました。

## 「合同商談会・盛岡会場」を開催（報告）

当センターでは、2月25日(木)岩手県工業技術センター(盛岡市)を会場に、岩手県の後援をいただき、標記商談会を開催しました。

この商談会は、東北6県首都圏を中心とした発注企業から16社21名と、岩手県、青森県三八地域及び秋田県鹿角地域において特色を持つ受注企業の61社79名が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただいたもので、厳しい経済環境のなか、発注側も受注側もそれぞれ真剣かつ熱心な商談が行われました。

最後に、今回の商談会に参加していただきました受発注企業の皆様に感謝申し上げますとともに、商談等の進展をお祈りします。



## 文学化学省委託事業 都市エリア産学官連携促進事業(発展型) 【いわて県央・釜石エリア】最終成果報告会

財団法人いわて産業振興センターでは、岩手県及び釜石市が「都市エリア産学官連携促進事業(発展型)」として文部科学省から採択を受けた「【いわて発】高付加価値コバルト合金の事業化推進研究開発」の中核機関となり、平成19年度から平成21年度までの3カ年計画でこのプロジェクトに取り組んでまいりました。

このプロジェクトは、耐磨耗性、耐腐食性に優れるコバルト合金について、更なる高付加価値化をすすめ、人工関節等の医療機器や一般産業における展開を図るものですが、この度、これまでの3年間の研究成果を広く企業、研究者等の皆様に紹介すると共に、幅広い交流・意見交換により産学官連携のより一層の促進を図ることを目的として、成果報告会を開催することといたしました。

また当日は、プロジェクト参画企業の株式会社エイワ様の新研究棟の見学も予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【日 時】** 平成22年3月24日(水) 15:30~19:30  
(株式会社エイワ新研究棟見学会13:45~15:00)
- 【場 所】** ホテルサンルート釜石 鳳凰・桐の間(2F)  
岩手県釜石市大町2丁目3-3  
TEL.0193-24-3311(代表)
- 【参加費】** 無 料  
ただし、交流会にご参加の方は  
会費3,000円を頂戴いたします
- 【申込方法】** 当センターホームページから申し込みが可能です。  
<http://www.joho-iwate.or.jp/area/area2/area-top2.htm>
- 【申込期限】** 平成22年3月16日(火)



### 申込先・問合せ先

新事業・研究開発支援グループ 担当/菊池・高館  
TEL.019-631-3827 E-mail:kenkyu@joho-iwate.or.jp



# インターネット通販セミナーを 再度開催しました



昨年11月末に、楽天株式会社と主催した「インターネット通販セミナー」につきましては、予想を遙かに上回るお申し込みをいただきました。

前回出席できなかった方に参加いただくため、2月3日に2度目のセミナーを、盛岡市アイスアリーナ会議室にて開催しました。今回も約100名（関係者、マスコミ含む）が出席、座席はほぼ満員となりました。

講師は前回同様、楽天株式会社ECコンサルタント・柘植正基氏が務めました。

内容も前回と同じく、同社の通信販売サービスの現状を通して、インターネット通販市場の拡大について説明されました。

なお今回は、事例紹介として、楽天市場を使い、「ロールケーキ」で売上げを伸ばしている花月堂（盛岡市）がゲストスピーカーとして登壇し、店舗運営手法から、クレーム処理に至るまでお話をいただきました。



総合支援グループ  
担当／中村・高橋 TEL.019-631-3826

## 商品化プロデュース事業（第2回）を開催しました

2月17日、岩手県工業技術センターにて、「商品化プロデュース事業」の2回目となる相談会を開催しました。今回は、前回に引き続きもう一度相談を受けたいと希望した相談者と、新規の相談者、計21社が参加しました。

（株）岩手県産（矢巾町）の担当者の方々や、「特産品プラザらら・いわて」（盛岡市）の店長、工業技術センターのデザイン担当研究員、当センターのコーディネーターなどが、相談に対応しました。

相談者は、試作品や資料を持参し、販売手法などのアドバイスを受けていました。また、適宜「発明協会岩手県支部」等、関係団体に引き継ぐなどしました。「商品化」に向けて一歩前進となったようです。



## 第2回二戸・久慈地区アパレル関連企業情報交換会開催報告

県北地区の基幹産業の1つとなっているアパレル産業に従事する皆様の交流を図るため、平成22年2月24日（水）本年度2回目の「二戸久慈地区アパレル関連企業情報交換会」を久慈にて開催いたしました。

当日は本年2月に自社ブランドを立ち上げて今注目の的となっております（株）ブランタンいずみ様と、国内でもその生産技術・品質で名を轟かせている岩手モリヤ（株）様の工場見学を行い、その後久慈地方振興局にて、各社の現況と今後の受注情報、各種意見交換、主催者からの発注情報の紹介を交え、経営品質アドバイザーの阿部亮先生に「アパレル業界の今後の展望」と題して講演いただきました。

当日は業務多忙中13社（14名）の企業の皆様の参加を得、県北のアパレル工場の殆どの参加をいただき、関係者も含めると30名の交流会となりました。

二戸地区からも5社の皆様が参加され、懇親会の場でも二戸地区久慈地区のアパレル関連企業の交流が図られておりました。

主催者として今後は秋田、青森の隣接する地域のアパレル関連企業との交流も視野に入れ来年度以降も同様の交流を深めていく考えです。



総合支援グループ  
担当／渡辺 TEL.019-631-3826

# いわて組込み技術研究会

いわて産業振興センターが事務局を務める「第5回いわて組込み技術研究会」を去る2月9日（火）ホテルメトロポリタン盛岡本館を会場として開催いたしました。

今回は第3回TOHOKU組込みフォーラムと共同開催いたしましたので、山形・宮城・秋田・青森・岩手などの組込み関連企業、教育、行政、支援機関などの関係者約90名様にご出席をいただきました。

基調講演としてキャッツ株式会社 取締役副社長 最高技術責任者 渡辺 政彦様に「10年後の組込みソフトウェア開発」についてお話をいただきました。

引き続き、日本IBM株式会社 Rational事業部 大野 洋一様、鈴木 尚志様に「組み込みソフトウェア開発の課題を解決するソリューション」についてご講演をいただきました。

研究会後に開催された懇親会では県内外の産学官の幅広い交流を図ることができました。

いわて組込み技術研究会の活動としては21年度最終回の開催となりましたが、22年度も引き続き活動を行う予定です。ご興味のある方は担当までご連絡ください。



## いわて組込み技術研究会 事務局

（財）いわて産業振興センター（担当／育成支援グループ 三上）

盛岡市飯岡新田3-39-2

TEL 019-631-3823 FAX 019-631-3830 <http://www5.pref.iwate.jp/~hp0405/iesc/inst.html>

解決サポート

## 下請かけこみ寺

### 弁護士無料相談実施中！

取引上のトラブルなど随時ご相談を受け付けています。

#### かけこみ寺・移動相談所(3月の開催予定)

二戸会場	二戸観光物産センターなにやーと	3月17日(水) 13:00~15:00
久慈会場	久慈商工会議所	3月18日(木) 10:00~12:00

※4月以降の開催日程は、現在決まっておりません。

下請かけこみ寺相談、  
弁護士無料相談のお問い合わせ先

育成支援グループ  
担当／伊藤・村上  
TEL.019-631-3822  
E-mail : [joho@joho-iwate.or.jp](mailto:joho@joho-iwate.or.jp)



### 心・技・体

新事業・研究開発支援グループ  
二階堂 篤

感動と興奮につつまれたバンクーバー冬季五輪が終わりました。その中で日本の多くの人が注目したのは、フィギュアスケート女子の浅田真央選手とキム・ヨナ選手の金メダル争いでした。2月26日午後には、自分達のつたない経験を重ね合わせて浅田選手になりきって、多くの人が街頭で、あるいは携帯TV等で応援したのではないのでしょうか。

スポーツは、「心・技・体」が揃って自分の力が発揮できると云われています。昨年の浅田選手は、五輪への出場が危ぶまれるほど絶不調でした。練習ではほぼ完璧に飛んでいたトリプルアクセルが試合ではことごとく失敗しました。メンタル面が弱っていました。自分の力を発揮するためには「常にプラス志向で集中！」というのは誰でも分かっているはずですが、それが何故か出来ない。リレハンメル冬季五輪のスキージャンプ団体戦での原田選手の失敗ジャンプが思い出されます。

それでも浅田選手はそれまでの失敗を踏まえ、昨年末から更に「技・体」の練習を重ね、強くなった「心」で冬季五輪に臨みました。結果は、浅田選手が2回のトリプルアクセルを成功させたにもかかわらず、ほぼ完璧な演技をしたキム・ヨナ選手の完勝で終わりましたが、世界最高の試合とどちらにも拍手を送った人は多かったはずですが。

この感動と興奮を我々の経営に活かしたいものです。「心」は経営者の意欲。限界まで挑戦する、夢を決して諦めない姿勢。「技」は、技術・設備、ノウハウ。「体」は、資金、信用、人材等の経営資源。この「心・技・体」が揃って、我が社の経営力が発揮できます。その中でも最も大切なのはスポーツと同じように「心」ではないのでしょうか。経営の三要素は、「人・物・金（+情報）」と云われますが、冬季五輪を機会に我が社を「心・技・体」で見直してはいかがでしょうか。

(財)いわて産業振興センター広報誌

## 産業情報いわて

2010年3月10日（毎月10日発行）

■発行 (財) いわて産業振興センター  
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 (岩手県先端科学技術研究センター2階)  
TEL.019(631) 3826 FAX.019(631) 3830  
E-mail [joho@joho-iwate.or.jp](mailto:joho@joho-iwate.or.jp) URL <http://www.joho-iwate.or.jp/>  
■編集印刷 川口印刷工業株式会社

PRINTED WITH  
SOYINK

FSC  
ミックス品  
FSC認証林産品  
森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert. no. CL-COC-808041  
© 1996 Forest Stewardship Council